

土木建築委員会 県内所管事務調査の概要

【平成27年12月4日（金）】

◆調査箇所：県道色宮港木立線（仮称：浦代第2トンネル）（佐伯市木立）

＜概要＞

色宮港木立線は米水津、鶴見地区と佐伯市中心部を結ぶ重要路線であるが、途中の浦代トンネル付近は線形が悪く大型車の離合が困難で、トンネルの幅員も狭いため、地域住民の生活に不都合をきたしている。

新たなトンネルの必要性や検討の状況について、佐伯市の建設部及び佐伯土木事務所から説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・事業の優先度向上について
- ・周辺地域の産業及び道路の利用状況について
- ・予想されるトンネル区間について

◆調査箇所：都市計画道路 山田関の江線（別府市石垣東）

＜概要＞

山田関の江線は別府市街地を南北に縦断して国道10号を補完する道路として重要な路線であるが、今後都市計画に基づいて春木川から北への延伸が計画されており、地域住民の安全・円滑な交通や防災機能の向上が期待されている。

事業計画の状況について、別府市建設部及び別府土木事務所から説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・新規工事区間の着手予定について
- ・春木川の道路横断方法について
- ・別府市の当面の要望区間について

◆調査箇所：県道中津高田線柳ヶ浦バイパス（宇佐市江須賀）

＜概要＞

現道の中津高田線は、中津市から豊後高田市を結ぶ幹線道路として重要な役割を果たしているが、交通量が増えて渋滞が頻発しているため、都市計画に基づいて柳ヶ浦駅周辺のバイパス工事を行う計画である。

現在の事業計画の状況について、宇佐市建設水道部及び宇佐土木事務所から説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・駅館川への架橋について
- ・宇佐本耶馬溪線の道路改良について
- ・バイパス完成後の現道の取扱いについて

◆調査箇所：都市計画道路 外馬場錆矢堂線（中津市一ツ松）

<概要>

当道路は中津市街地に通じる主要道路で、沿道には医療機関、学校、店舗等が点在し、市民生活を支える重要な道路である。交通量の増加により渋滞が慢性化しており、幅員と歩道の改良工事が計画されている。

都市計画による事業の計画状況について、中津市建設部及び中津土木事務所から説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・全体事業費及び来年度要望額について
- ・用地補償の開始時期について
- ・事業区間について